

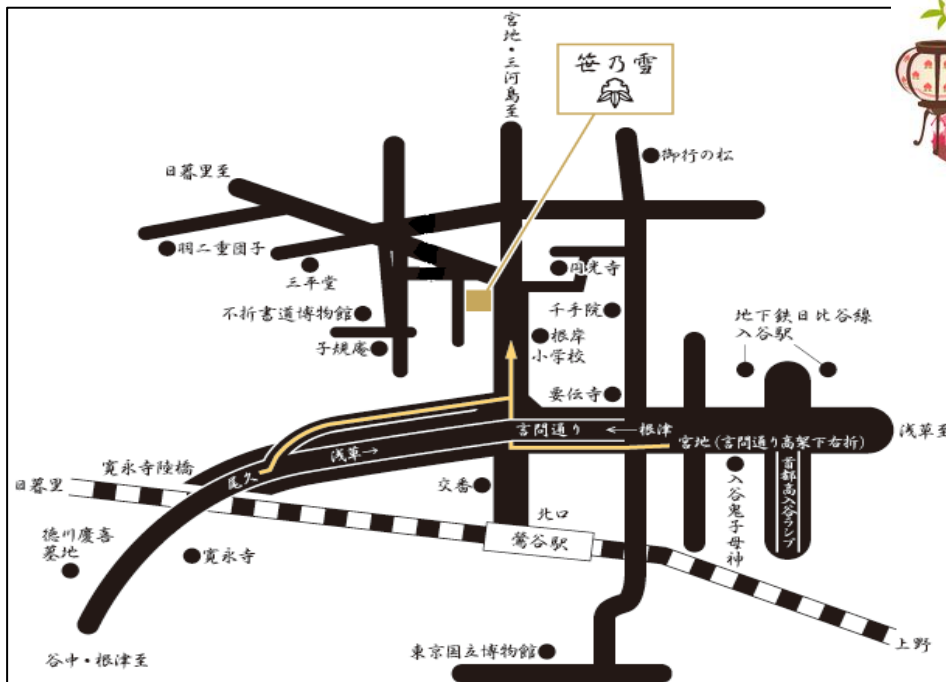
お花見&ランチ会



早咲きの桜の便りも聞かれる今日この頃、暖かな日差しをあびて、久しぶりに上野公園界隈の散策に出かけましょう。ランチは老舗の「笹乃雪」でのお豆富料理を楽しみましょう。お友達をお誘いの上どうぞご参加ください。

記

- 日 時 平成29年3月23日(木) 午前10時集合～午後3時解散
- 集合場所 上野公園口改札前～美術館～寛永寺～鶯谷駅～笹乃雪
- 会 場 笹 乃 雪 〒110-0003 東京都台東区根岸2-15-10 正午で予約
TEL:03-3873-1145 FAX:03-3876-4354 鶯谷駅徒歩3分
- 参加費 3800円(税込み) 飲み物は別途自己負担
- 問い合わせ・申込先：03-3849-3211
- 締め切り：3月15日(水)



雨天時は、美術館散策後、上野駅に戻り、JRで鶯谷駅から「笹乃雪」へ歩きます。駅から3分

送り先 FAX: 03-3849-3211 3月例会参加申込書

氏名

住所

当日の連絡先

「笹乃雪」へ直行する・しない

「笹乃雪」の名の起り

笹乃雪初代玉屋忠兵衛が絹ごし豆腐を発明。

元禄四年（約三百十五年前）上野の宮様（百十一代後西天皇の親王）のお供をして京より江戸に移り、江戸で初めて絹ごし豆腐を作り根岸に豆腐茶屋を開いたのが当店の始まりです。宮様は当店の豆腐をことのほか好まれ「笹の上に積もりし雪の如き美しさよ」と賞賛され、「笹乃雪」と名づけ、それを屋号といたしました。その時賜りました看板は今も店内に掲げてございます。

当時の製法そのままに、井戸水とにがりを使用した昔ながらの豆腐の味をご賞味くださいませ。



恋人は赤穂浪士

本日は、当店の伝説ともなっている切ない恋のお話をいたしましょう。時は元禄15年12月14日。ご存知、赤穂浪士の討ち入りがございました。主君の仇討ちを果たした浪士たちは4力所の大名屋敷にお預けとなったのですが、そのうち大石内蔵助以下17人が預けられた細川様のお屋敷に、当店の豆腐が届けられました。上野輪王寺の宮、公弁法親王様のお心遣いです。

当店は、初代玉屋忠兵衛が親王様について京都から江戸へ移ってきたという縁があり、こうしたお使いも珍しいことではなかったのですが、この時届けられた豆腐には、別の思いも込められていました。実は、娘のお静が細川家お預けの赤穂浪士の一人、磯貝十郎左衛門に心を寄せていたのです。

最初の出会いは、お静が雪道で足をとられ滑りそうになったのを十郎左衛門が助けた時。そして、十郎左衛門が俳人の宝井其角に連れられて来店したことで2人は再会します。その後も十郎左衛門はたびたび来店したようですが、もちろん本当の名前も身分も明かすことはありませんでした。

赤穂浪士たちのその後ま、ご承知のとおりですから、この話に楽しい続きはありません。第一、この恋が片思いだったのか、両思いだったのかも不明。いずれにしても、凛として白いお豆腐のように、おまろで濃いお話です。



笹乃雪が豆腐を「豆腐」と記すわけ

笹乃雪では豆腐のことを「豆腐」と書いて「とうふ」と読みます。その由来は今からさかのぼること80年ほど前9代目当主 奥村多吉が料理店に「腐る」という字はふさわしくない、という理由で「豆腐」と記すようになりました。今では、「豆腐」という字も日本中で使われているようです。

NPO 法人みみより会 事業部

